

【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	令和４年９月30日
【計算期間】	第14期中（自 令和４年１月１日 至 令和４年６月30日）
【発行者名】	バラック・ファンドSPCリミテッド (Barak Fund SPC Limited)
【代表者の役職氏名】	取締役 ミッチェル・アラン・バレット (Mitchell Alan Barrett)
【本店の所在の場所】	ケイマン諸島、KY1-1002 グランドケイマン、私書箱10240、 サウス・チャーチ通り103、ハーバー・プレイス４階、 ハーニーズ・サービスズ(ケイマン)リミテッド気付 (c/o Harneys Services (Cayman) Limited, 4th Floor , Harbor Place, 103 South Church Street, PO Box 10240 , Grand Cayman KY1-1002, Cayman Islands)
【代理人の氏名又は名称】	弁護士 小 野 雄 作 弁護士 西 村 早紀子
【代理人の住所又は所在地】	東京都千代田区霞が関３－２－５ 霞が関ビルディング 粕・小野グローバル法律事務所
【事務連絡者氏名】	弁護士 小 野 雄 作 弁護士 西 村 早紀子
【連絡場所】	東京都千代田区霞が関３－２－５ 霞が関ビルディング 粕・小野グローバル法律事務所
【電話番号】	03(6550)8301
【縦覧に供する場所】	該当なし

1 【外国投資法人の概況】

- (注1) 本書中、アメリカ合衆国ドル（以下「米ドル」又は「ドル」という。）は、便宜上、2022年7月29日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信直物売買相場の仲値（1米ドル＝134.61円）によります。
- (注2) 本ファンドは、ケイマン諸島の法律に基づいて設立されておりますが、ファンド株式は、米ドル建てです。以下の金額表示は別段の記載がない限り米ドルをもって行います。
- (注3) 本書の中で金額および比率を表示する場合の数字は四捨五入してあるため、合計の数字が一致しない場合があります。また、外貨による表示された金額の日本円への換算は、本書の中でそれに対応する数字につき所定の換算率で単純計算のうえ、必要な場合四捨五入してあります。従って、本書中の同一情報につき異なった円貨表示がなされている場合があります。
- (注4) 本書中、「ファンド株式」または「クラスB4参加株式」とは、投資信託及び投資法人に関する法律(昭和26年法律第198号(改正済))に定義される「外国投資証券」を意味し、「株主」とは、同法に定義される「投資主」を意味します。

（１）【主要な経営指標等の推移】

ファンドの直近３中間計算期間および直近２計算期間に係る主要な経営指標等の推移は以下のとおりです。下表の情報は、各期に関するファンドの監査済財務書類および無監査の中間財務書類に基づくものです。

（単位：別段の記載を除き米ドル）

* 括弧内は円換算額（単位：千円（ただし、１株当りの金額については円））

	バラック・ファンド SPC リミテッド - バラック・ストラクチャード・トレード・ファイナンス・セグリゲートッド・ポートフォリオ				
	自 2020年 1 月 1 日 至 2020年 6 月30日 (第12期中)	自 2020年 1 月 1 日 至 2020年12月31日 (第12期)	自 2021年 1 月 1 日 至 2021年 6 月30日 (第13期中)	自 2021年 1 月 1 日 至 2021年12月31日 (第13期)	自 2022年 1 月 1 日 至 2022年 6 月30日 (第14期中)
営業収益 (注1)	38,911,282 (5,237,848)	165,013,338 (22,212,445)	97,707,209 (13,152,367)	88,176,243 (11,869,404)	28,707,081 (3,864,260)
経常利益 / 損失金額 (注2)	39,349,143 (5,296,788)	2,037,991 (274,334)	11,072,262 (1,490,437)	98,364,692 (13,240,871)	71,238,861 (9,589,463)
当期純利益 / 損失金額	39,349,143 (5,296,788)	2,037,991 (274,334)	11,072,262 (1,490,437)	98,364,692 (13,240,871)	71,238,861 (9,589,463)
出資総額 (注3)	851,628,925 (114,637,770)	860,817,172 (115,874,600)	871,889,433 (117,365,037)	726,936,483 (97,852,920)	657,095,677 (88,451,649)
発行済株式総数 (株)					
クラスB1参加株式	2,422,111	2,422,110	2,422,111	2,315,677	2,139,517
クラスB2参加株式	538,488	538,487	538,488	525,365	485,400
クラスB3参加株式	9,680	9,680	9,680	9,444	8,726
クラスB4参加株式	28,858,314	28,858,314	28,858,314	28,155,094	26,013,291
純資産額	851,628,925 (114,637,770)	860,817,172 (115,874,600)	871,889,433 (117,365,037)	726,936,483 (97,852,920)	657,095,677 (88,451,649)
総資産額	982,687,203 (132,279,524)	968,772,483 (130,406,464)	978,987,549 (131,781,514)	832,472,464 (112,059,118)	793,508,733 (106,814,211)
1株当り純資産額					
クラスB1参加株式	313.98 (42,265)	317.36 (42,720)	321.49 (43,276)	279.77 (37,660)	273.78 (36,854)
クラスB2参加株式	115.50 (15,547)	116.74 (15,714)	118.25 (15,918)	102.91 (13,853)	100.71 (13,557)

クラスB3参加株式	101.40 (13,649)	125.22 (16,856)	103.83 (13,977)	107.10 (14,417)	92.18 (12,408)
クラスB4参加株式	0.96 (129)	0.97 (131)	0.98 (132)	0.85 (114)	0.83 (112)
1株当たり当期純利益 / 損失金額（注4）	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
自己資本比率（％）	86.66	88.86	89.06	87.32	82.81
自己資本利益率（％）	4.62	0.24	1.27	13.53	10.84

（注1） 営業収益には投資収益ならびに実現および未実現投資利益(損失)を含めています。

（注2） 経常利益(損失)は営業収益から費用を控除したものです。

（注3） ファンドは、発行会社の分離ポートフォリオであり、純資産総額を記載しています。

（注4） 各期についての1株当たり当期純利益/損失金額は、各期の財務書類に開示されていないため、記載しておりません。

（2）【外国投資法人の出資総額】

2022年7月末現在、以下のとおりです：

（1） 授権資本は20,000,100米ドルであり、以下に分けられます：

無額面の議決権付非参加経営株式100株

無額面の無議決権買戻可能参加株式20,000,000株

（注1） 経営株式への申込みはできません。経営株式は、発行会社の一般的利益の中から宣言される配当金に参加する権利が付与されますが、分離ポートフォリオに関して宣言された分配金に参加する権利は有しません。経営株式の保有者には、株主総会の通知を受領し、出席もしくは投票する権利が付与されます。発行会社の解散の場合、経営株式の保有者は、発行会社の一般的資産（経営株式の発行手取金を含む、分離ポートフォリオの組入資産以外の資産）の按分比例持分を受領する権利を有しますが、分離ポートフォリオの残余資産に対する権利は有しません。

（注2） 参加株式は、分離ポートフォリオの株式として指定され、取締役の決定に従い当該参加株式が発行される分離ポートフォリオおよび（もしあれば）クラスに対して指定もしくは特定されます。参加株式の発行手取金は、当該参加株式が発行される分離ポートフォリオの資産を構成するものとします。

（2） 発行済資本は以下のとおりです：

（ ） 経営株式1株が、投資運用会社のノミニーであるバラック・ホールディング・トラストに対して、総額1米ドルの対価で全額払込済および発行済です。

（ ） ファンド（分離ポートフォリオ）についての発行済資本は以下のとおりです。

純資産総額：

ファンド合計	625,054,066米ドル（84,139百万円）
クラスB1参加株式	557,233,236米ドル（75,009百万円）
クラスB2参加株式	46,504,304米ドル（6,260百万円）
クラスB3参加株式	765,168米ドル（103百万円）
クラスB4参加株式	20,534,524米ドル（2,764百万円）

参加株式の発行済株式総数

クラスB1参加株式	2,035,323 株
クラスB2参加株式	461,761 株
クラスB3参加株式	8,301 株
クラスB4参加株式	24,746,392 株

なお、最近３中間計算期間および直近２計算期間における純資産総額および発行済株式数の増減については、前記「(1) 主要な経営指標等の推移」を参照して下さい。

（３）【主要な投資主の状況】

2022年７月末現在、日本の株主が保有するファンドのクラスB4参加株式の主要株主（保有株数上位５位）は以下のとおりです。株主の氏名／名称および住所／所在地は秘密情報のため開示できません。

クラスB4株式

	登録株主の種類	所在国	所有株数	発行済株式総数 に対する 所有比率
1	会社	ケイマン諸島	11,557,480	46.70%
2	銀行	日本	8,275,004	33.44%
3	証券会社	日本	857,513	3.47%
4	証券会社	日本	788,912	3.19%
5	銀行	日本	502,168	2.03%

（４）【役員の状況】

バラックSPCファンド・リミテッドの取締役は以下のとおりです。

（提出日現在）

氏名	役職名	主要略歴
ミッチェル・アラン・バレット (Mitchell Alan Barrett)	取締役	1997年に南アフリカの弁護士資格を取得。金融業では25年の経験を有しています。メイトランド、インターコンチネンタル・トラスト（ベーカー・ティリー・グループ）を含む主要な法人サービス会社で勤務し、ターンストーン・コーポレートではパートナーを務めました。 2009年に、世界中のセクターに多額の持分を有する大規模ファミリーオフィスの最高経営責任者（CEO）に任命されました。また、中東のソブリン・ファンドに対して、ホスピタリティ産業における10億超規模の合併に助力しました。現在、複数の投資ファンドの取締役会のメンバーであり、バレット・ダブレイ・インクのマネージング・パートナーを務めています。 南アフリカのナタル大学で優等法学士号、英国サリー大学で国際税およびウェルス・マネジメントの分野で経営学修士号を取得。英国勅許ガバナンス協会会員。

マイケル・ピアソン (Michael Pearson)	取締役	2021年5月27日、バラック・ファンドSPCリミテッドの取締役就任。 独立の取締役、清算人、管財人、アドバイザーとして豊富な実績を有しており、会社、パートナーシップ、信託およびその他の金融ストラクチャーに対して、独立の立場からガバナンスと紛争解決のアドバイスを提供することを専門としています。現在は、オフショア/オンショアの多くのヘッジファンドやその他の投資持株会社の取締役および清算人を務めています。金融分野で20年以上の経験を有し、世界4大会計事務所の倒産・再生手続専門チームで様々な上級管理職を務めました。流動性の問題を発生させ、しばしば紛争・訴訟に発展するワインドダウン、リストラクチャリングおよびその他の複雑な状況(予期せぬ出来事によるコミュニケーションや関係の断絶など)に関して豊富な経験を有しています。また、同氏の実績には、複雑で流動性の低い資産の現金化、サービスプロバイダー問題の解決、評価・償還・サイドレターをめぐる紛争の対処に加え、不正行為、法的請求権、規制問題、紛争、リストラクチャリング、補償実務、クローバックおよび訴訟に関する調査も含まれます。このように、同氏は、オフショア/オンショアのファンドやその他の投資ビークルの取締役会レベルに対してガイダンスを提供でき、コーポレート・ガバナンスの強化に当ることのできる理想的かつハイレベルな経歴を持っています。また同氏は、近年、最も注目を集めた投資ファンドの清算手続きにも関わっており、その実利的かつ明快なアプローチは常に注目されています。現在は、複数の国において訴訟に携わっており、その中には、マドフ・フィーダー・ファンドのケイマン清算手続きに関する画期的な訴訟も含まれます。近年は、オンショア/オフショアの複雑なストラクチャーを新しいマネージャーへ移行させること、一部の米国ファンドの敵対的買収、数億ドル規模の調停、さまざまな信託の紛争、米国破産問題ならびにその他の仕組み金融や持株会社の再編などにも関わっています。 イングランド・ウェールズ勅許会計士協会のフェローであり、英国のライセンスとケイマンの資格を持つ倒産実務の専門家です。INSOL Internationalのメンバーであり、350人以上のメンバーが所属するケイマン諸島の Restructuring and Insolvency Specialists Associationにおいて創立時から会長を務めています。また、ケイマン諸島金融庁に公認取締役として登録しています。
--	------------	--

(注) 上記の取締役のうち、ファンド株式を所有している者はいません。

(5) 【その他】

本書提出日前6ヶ月以内において、訴訟事件その他ファンドに重要な影響を与えた事実および重要な影響を与えることが予想される事実はありません。

２【外国投資法人の運用状況】

（１）【投資状況】

資産別および地域別の投資状況は以下のとおりです。

(2022年7月末現在)

投資資産の種類	地域別	時価(米ドル)	投資比率(%)	
			対資産総額	対純資産総額
ローン債権	南アフリカ	376,276,179	31.17	60.20
	ケニア	172,317,739	14.27	27.57
	ザンビア	71,771,195	5.95	11.48
	ガーナ	57,160,190	4.74	9.14
	マルタ	45,773,362	3.79	7.32
	タンザニア	39,177,852	3.25	6.27
	英国	33,906,267	2.81	5.42
	オーストラリア	30,140,887	2.50	4.82
	ジンバブエ	28,318,840	2.35	4.53
	セネガル	27,786,512	2.30	4.45
	コンゴ民主共和国	22,406,653	1.86	3.58
	オランダ	21,978,745	1.82	3.52
	モーリシャス	20,995,683	1.74	3.36
	ギニア	16,862,443	1.40	2.70
	アラブ首長国連邦	13,934,509	1.15	2.23
	英領バージン諸島	13,265,541	1.10	2.12
	スウェーデン	12,352,819	1.02	1.98
	ウガンダ	10,960,845	0.91	1.75
	ガーンジー	9,599,963	0.80	1.54
	ナイジェリア	9,408,078	0.78	1.51
	エジプト	6,463,841	0.54	1.03
	コートジボワール	4,888,906	0.40	0.78
	ボツワナ	4,617,452	0.38	0.74
	ブラジル	4,023,775	0.33	0.64
	シンガポール	2,930,006	0.24	0.47
	米国	1,500,471	0.12	0.24
	南スーダン	935,323	0.08	0.15
	モザンビーク	836,012	0.07	0.13
	香港	828,604	0.07	0.13
	小 計	1,061,418,693	87.93	169.81
現金およびその他資産		145,719,561	12.07	23.31
資産総額		1,207,138,254	100.00	193.13

負債総額	582,084,188	48.22	93.13
合計(純資産総額)	625,054,066 (84,139百万円)	51.78	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の比率をいいます。以下同じです。

（２）【運用実績】

ファンドの運用実績は以下のとおりです。以下、参加株式に関する情報は、日本の株主が保有するクラスB4参加株式についてのみ記載しております。

【純資産等の推移】

2022年７月末日前１年以内における純資産等の推移は以下のとおりです。

	総資産額		純資産総額		1株当り純資産価格	
					クラスB4参加株式 (米ドル建)	
	米ドル	千円	米ドル	千円	米ドル	円
2021年８月末	1,228,328,038	165,345,237	821,742,634	110,614,776	0.94	127
９月末	1,191,053,426	160,327,702	820,745,742	110,480,584	0.94	127
10月末	1,180,610,514	158,921,981	787,344,626	105,984,460	0.92	124
11月末	1,171,510,807	157,697,070	787,946,398	106,065,465	0.92	124
12月末	832,472,464	112,059,118	726,936,483	97,852,920	0.85	114
2022年１月末	1,199,376,122	161,448,020	753,755,856	101,463,076	0.92	124
２月末	1,206,979,995	162,471,577	754,060,420	101,504,073	0.92	124
３月末	1,227,525,930	165,237,265	754,201,568	101,523,073	0.92	124
４月末	1,215,823,605	163,662,015	729,149,480	98,150,812	0.92	124
５月末	1,211,098,712	163,025,998	657,087,756	88,450,583	0.83	112
６月末	793,508,733	106,814,211	657,095,677	88,451,649	0.83	112
７月末	1,207,138,254	162,492,880	625,054,066	84,138,528	0.83	112

（注）2021年12月末の数値は、2021年12月31日に終了した年度の監査済財務書類に基づくものです。2022年６月末の数値は、2022年６月30日に終了した６ヵ月間の無監査中間財務書類に基づくものです。当該月以外の数値は、管理事務代行会社による各月末現在の純資産レポートに基づく数値です。各月末のクラスB4株式の１株当り純資産価格は、１セント未満を四捨五入して表示しています。

【分配の推移】

設定来、いずれのクラスについても分配金は支払われておりません。

【自己資本利益率(収益率)の推移】

2022年7月末日前1年間について、収益率は以下のとおりです。

クラス	2021年7月末現在 1株当たり純資産価格 (米ドル)	2022年7月末現在 1株当たり純資産価格 (米ドル)	収益率 (%)
クラスB4参加株式	0.98	0.83	- 15.31

(注) 収益率(%) = $100 \times (a - b) / b$

a = 2022年7月末の1株当たり純資産価格(2022年7月末日前1年間の分配金の合計額を加えた額)

b = 2021年7月末の1株当たり純資産価格(分配落の額)

(3) 【投資リスク】

当中間計算期間において、直近の有価証券届出書に記載した「投資リスク」について重要な変更はありませんでした。また本書提出日現在、外国投資法人が将来にわたって営業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況その他外国投資法人の経営に重要な影響を及ぼすような事象はありません。

新型コロナウイルス感染症の影響の結果として、ファンドの融資先企業のかなりの部分が、サプライチェーンの混乱や景気の悪化により、キャッシュ・フローおよび流動性の問題の兆候を示し、融資先企業が借入金返済契約の不履行に陥ったことが、経営陣によって言及されています。

ファンドの取締役会は、ファンドのすべての株主が平等に扱われることが確保されるように、ポートフォリオの価値を保護するため、2020年3月30日に、ファンドの株主の任意の買戻請求権を停止しました。停止日から本財務書類に署名する日までの間、取締役会は、投資者価値の維持およびポートフォリオの資産ベースの保護を念頭に、ファンドの投資運用会社が、引き続き、ファンドの投資ポートフォリオの運用を行っていくことを確保しました。

取締役会は、投資運用会社からの助言に基づき、現時点では、停止の原因となった状況が短・中期的（2022年6月29日（直近の年次財務書類の公表日）から少なくとも18ヶ月間）に解消する可能性は低いと考えており、よって、停止は、少なくとも当該期間継続する可能性が非常に高く、またそれ以上継続する可能性も予想されます。

株主価値を最大化するため、投資運用会社は、「投売り(fire sale)」ではなく、管理された方法で貸付金債権の実現化を目指します。このプロセスでは、時間をかけて資産を現金化していくことになります。

その後、ポートフォリオの出口戦略の一環として、強制償還の過程を通じ、分配可能な現金を投資者に按分比例で返還する予定です。

３【資産運用会社の概況】

（１）【名称及び資本金の額】

（イ）名称

バラック・ファンド・マネジメント・リミテッド（投資運用会社）

(Barak Fund Management Limited)

（ロ）資本金の額

2022年７月末現在、40,000米ドル（約５百万円）です。

（２）【大株主の状況】

（2022年７月末現在）

氏名／名称	住所／所在地	発行済株式総数に 対する所有比率
ザ・プロディジー・トラスト (The Prodigy Trust)	モーリシャス	30.22%
エバン・フェルドマン (Evan Feldman)	英国、ロンドン	21.78%
ジャン・クラバン (Jean Craven)	南アフリカ、ヨハネスブルク	19%
プリユー・デュ・プレシ (Prieur du Plessis)	南アフリカ、ケープタウン	19%
ケヴィンドレン・ラムサミー (Kevindren Ramsamy)	モーリシャス、トンボー・ベイ	10%

（３）【役員の状況】

投資運用会社の取締役は以下のとおりです。

（2022年７月末現在）

氏名	主 要 略 歴	所有株数 ／ 比率
プリユー・デュ・プレシ (Prieur du Plessis)	投資運用会社の共同創設者であり、コモディティ取引業および金融業の分野で15年を超えるキャリアを有する。これまで、パークレイズ・バンク・ピエルシーの子会社であるアブサ・バンクの仕組取引およびコモディティ金融部門の責任者を務め、スタンダード・バンクではソフトコモディティ組成チームの責任者を務めた。（ファースト・ランド・グループの）ランド・マーチャント銀行では、当初、同行のコモディティ取引の財務面での管理者であり、その後、同行において、仕組みコモディティ金融ディールを組成する役割を担いました。ランド・マーチャント・バンク在職中は、世界で初めて穀物の証券化を成功させたチームの主要メンバーであり、同チームをアフリカで三番目に大きい農作物保険会社の設立に導く。スタンダード・バンクでは、初のバイオ燃料ファイナンス商品となる三年間のヤトロファ生産ファイナンス商品のローンチを行ったチームの一員でした。 公認会計士であり、PwCにおいて公的研修を終了している。	19%

ケヴィンドレン・ラムサミー (Kevindren Ramsamy)	バラック・ファンド・マネジメント・リミテッド入社前は、HSBC（モーリシャス）の財務部門に勤務。2006年から2010年まで、スタンダード・バンク・モーリシャス・リミテッドにて管理および規制報告の責任を担い、金融分野でのキャリアを積みました。その後2011年から2015年まで、同行のビジネス・マネージャーから最高経営責任者までの地位を歴任しました。2015年に、コンゴ民主共和国（DRC）のスタンダード・バンクの業務執行最高財務責任者。スタンダード・バンク・リミテッド（モーリシャス）のカンパニー・セクレタリーとなった後、スタンダード・バンク年金基金の会長に就任。モーリシャスの銀行セクターにおける経験は10年を超え、現在、公認会計士協会のメンバー。 ヨーク大学で経済学と金融学の理学士号を取得、ウォーウィック大学で経営科学および業務運営調査で修士号を取得。	10%
メサーナ・ホセンボクス (Mehsana Hosenbocus)	オフショア・バンキング、オフショアビジネスストラクチャリング・経営を専門とする、経験豊かな金融のプロである。法学の優等学士号(LLB) および経営学修士号(MBA) を取得している。 ロンドン大学法学部卒の経歴を持ち、現在は、モーリシャスを拠点に、自らの会社であるAcuFinコーポレート・リミテッドを通じて、多くの金融関連会社のためにビジネスコンサルティングおよびビジネス最適化に携わっている。	該当なし

(4) 【事業の内容及び営業の概況】

2022年7月末現在、投資運用会社は、バラック・ファンド SPC リミテッドの中の以下の7つの分離ポートフォリオを運用しています。

(2022年7月末現在)

	名称	基本的性格	設立年月日	通貨	純資産総額 (百万米ドル)	1単位当り 純資産額 (米ドル)
1	バラック・ストラクチャード・ トレード・ファイナンス・ファンド (Barak Structured Trade Finance Fund)	仕組み 貿易金融	2009年2月	米ドル	625	B1: 273.78 B2: 100.71 B3: 92.18 (ユーロ) B4: 0.8298
2	バラック・ミコポ・クレジット・ ファンド (Barak Mikopo Credit Fund)	デット	2016年5月	米ドル	62.98	132.23
3	バラック・アフリカ・トレード・ ファイナンス・ファンド (Barak Africa Trade Finance Fund)	仕組み 貿易金融	2019年4月	米ドル	62.21	G1: 94.43 G2: 116.14
4	バラック・シャリア・トレード・ ファイナンス・ファンド (Barak Shariah Trade Finance Fund)	仕組み 貿易金融	2016年11月	米ドル	41.29	J1: 138.74 ZJ1: 110.71 ZJ2: 99.64

5	バラック・インパクト・ファイナンス・ ファンド (Barak Impact Finance Fund)	仕組み 貿易金融	2014年 7 月	米ドル	18.29	124.25
6	バラック・アシャ・インパクト・ ファンド (Barak Asha Impact Fund)	デット	2016年 5 月	米ドル	1.5	146.37
7	バラック・シャンタ・ファンド (Barak Shanta Fund)	デット	2014年 5 月	米ドル	1.3	91.79

4 【外国投資法人の経理状況】

以下に掲げるファンドの中間財務書類は、発行会社によって作成されたファンドの原文の中間財務書類を翻訳したものです。これは、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）第76条第4項ただし書の規定の適用によるものです。

ファンドの原文の中間財務書類については、外国監査法人等（公認会計士法（昭和23年法律第103号）第1条の3第7項に規定する外国監査法人等をいう。）の監査を受けておりません。

ファンドの原文の中間財務書類は、米ドルで表示されています。日本文の中間財務諸表には主要な金額について円換算額が併記されています。換算は便宜上、2022年7月29日現在における株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信直物売買相場の仲値（1米ドル＝134.61円）で行われています。なお、千円未満の金額は四捨五入されています。

（１）【資産及び負債の状況】

バラック・ストラクチャード・トレード・ファイナンス・セグリゲートッド・ポートフォリオ

財政状態計算書
2022年 6 月30日現在
（無監査）

	米ドル	千円
資 産		
流動資産		
償却原価測定 of ローン債権	634,675,153	85,433,622
損益を通じた公正価値測定 of ローン債権	94,253,394	12,687,449
現金および現金同等物	40,290,773	5,423,541
ブローカーに対する債権	8,453,885	1,137,977
関係当事者に対するローン債権	3,797,671	511,204
その他債権	12,037,857	1,620,416
資産合計	793,508,733	106,814,211
負 債		
流動負債		
借入金	95,738,664	12,887,382
買戻未払金	34,955,467	4,705,355
その他未払金	3,728,795	501,933
未払費用	1,990,129	267,891
負債（買戻可能参加株式の保有者に 帰属する純資産を除く）	136,413,056	18,362,561
買戻可能参加株式の保有者に帰属する 純資産	657,095,677	88,451,649

バラック・ストラクチャード・トレード・ファイナンス・セグリゲートッド・ポートフォリオ

包括利益計算書
2022年 6 月30日に終了した 6 ヶ月間
（無監査）

米ドル	千円
-----	----

収 益		
受取利息	45,741,620	6,157,279
損益を通じた公正価値測定の		
金融資産に係る未実現損失	(18,225,057)	(2,453,275)
利益割当	751,916	101,215
その他収益	438,601	59,040
収益合計	28,707,081	3,864,260
費 用		
予想信用損失	86,485,560	11,641,821
管理報酬	7,284,063	980,508
支払利息	5,311,586	714,993
その他営業費用	864,733	116,402
営業費用合計	99,945,942	13,453,723
買戻可能参加株式の保有者に 帰属する純資産の運用による 減少	(71,238,861)	(9,589,463)

バラック・ストラクチャード・トレード・ファイナンス・セグリゲートッド・ポートフォリオ

買戻可能参加株式の保有者に帰属する純資産の変動計算書

2022年6月30日に終了した6ヵ月間

（無監査）

	米ドル	千円
買戻可能参加株式の保有者に帰属する期首純資産	788,334,540	106,117,712
買戻可能参加株式の発行手取金	-	-
買戻可能参加株式の買戻支払金	(60,000,000)	(8,076,600)
買戻可能参加株式の保有者に帰属する純資産 の運用による減少	(71,238,861)	(9,589,463)
買戻可能参加株式の保有者に帰属する期末純資産	657,095,677	88,451,649

（２）【投資有価証券明細表等】

該当なし

5【販売及び買戻しの実績】

2022年7月末日前1年間における販売および買戻しの実績ならびに同日の発行済株式数は以下のとおりです。

（注）クラスB4参加株式の日本における販売、買戻しおよび発行済の株数は（ ）で示しています。

クラスB4参加株式

期間	期中販売株数	期中買戻株数 (強制償還による) ^(注)	期末発行済株数
自2021年8月1日 至2022年7月31日	0 (0)	4,111,922 (4,111,922)	24,746,392 (24,746,392)

（注）2020年3月31日以降、日本を含む世界全体において、クラスB4参加株式を含むすべてのクラスの参加株式の申込みおよび買戻しは停止されています。上記の買戻株数は、ファンドの出口戦略の一環として、全クラスの参加株式の保有者に対し、2021年9月30日、2021年12月31日、2022年3月31日および2022年6月30日現在の各保有比率に応じて合計120,000,000米ドルの強制償還金が支払われたことによるものです。